



発行人/生活協同組合・消費者住宅センター
理事長/藤井 篤
〒164-0011 東京都中野区中央5-41-18 東京都生協連会館

TEL 03-5340-0620 (代表)
FAX 03-5340-0621
URL <http://www.iecoop.jp/>
E-mail info@iecoop.jp



CONTENTS

- 01 創エネ・エコ・太陽光発電
- 02 総代会報告
- 03 2011年度の事業に向けて
- 04 現場訪問〈Y様邸〉
- 05 東日本大震災
災害ボランティア活動報告
- 07 住宅エコポイント終了
のお知らせ
- 08 マンション管理のお知らせ
イベントのお知らせ

脱原発・自然エネルギーで安全な暮らしを

脱原発と太陽光発電

理事 吉川 方章

東日本大震災により発生した福島第一原発の事故は最大の公害ですね。その被害は大気・空気・空・水・海・川・土・土壌を汚し、食物・農畜産物・魚介類を奪い、私たちのいのち・暮らし・環境を破壊します。その影響は現在ばかりか次世代まで引き継がれ、地域も広範囲です。安全神話が崩れ安全が約束できないのですから、二度と再び原発事故を起こさないためには原子力発電によるエネルギーから脱却して、自然エネルギーに転換しなければダメだと言うことを教えてくれました。

ところで私は今年の一・二月の我が生協・住宅センター主催の地球環境・環境セミナー「ハチドリのひとつく、今、私にできること」と「まだ誰も知らないオール電化・太陽光発電のはなし」に参加しました。講師は、「パワーポイントを使って太陽光発電とオール電化によって自然エネルギーを利用して地球環境保全に貢献し、ガス

や電気代を削減しよう」と熱く語りました。オール電化には少々抵抗感がありましたが太陽光には積極的意義が判ったのです。
(別紙にて、全文掲載)

太陽光発電を導入して 思う

組合員 朝比奈 健一

太陽光発電など自然エネルギーによる電力自給を考えたのは、今から四〇年以上もさかのぼる。かつて都立の工業高校で電気科に所属していた時に、関東地区電気教育研究会の発表会があった。そこに太陽追跡充電装置を発表するために太陽電池を扱っていたが、それが太陽電池との最初の出会いである。当時はなにより高価であり、また、得られる電力も今の数分の一にも満たなかったと記憶している。しかし、太陽光から電気が直接得られるということに大いに興味を注がれていた。それを実用の形で思い描けるようになったのは、ログハウスづく

りを始めた6年前である。ある程度建築し終わったら自然エネルギーを導入しようと思っていたからだ。もちろん、太陽光発電でも風力発電でもまた、電気に限定することなく自給自足に足る方法であれば、他の方法でもかまわなかった。実行に移すきっかけは、昨年12月、学校生協が消費者住宅生協の環境セミナーに参加したことだ。講師の森田氏の話に共感・共鳴、引き込まれたからだ。
(別紙にて、全文掲載)



第36回通常総代会が6月11日(土)午後2時より、東京都生協連会館で開催されました。総代定数100人のところ86人(本人出席38人)が出席し、全議案が可決承認されました。

定刻に至り鐘ヶ江正志副理事長が開会を宣し、議長に朝比奈健一総代、豊原徹雄総代を選出し、その後議事が進行されました。

藤井篤理事長が生協を代表して挨拶を行い、引き続き、ご来賓の東京都生活協同組合連合会専務理事竹内誠様、さいたま住宅生活協同組合理事長本山豊様から挨拶を頂き、生活協同組合ちば住宅コープ理事長山田育典様が紹介されました。

議案審議は、大関恵士専務理事が第1号議案2010年度事業報告・決算関係書類承認の提案を行い、井上礎幸監事が監査報告を行ないました。2010年度は受付件数、完成件数、供給高は前年比130%前後伸ばしたものの、上半期は2494万円の赤字となり、下半期は人件費などの経費削減策もととり、わずかではありましたが170万円黒字とすることができこと、また創立35周年記念のキャンペーンを通して、組合員を始め協力業者の積極的な参加のもと、組合員が1万人を突破したことが報告されました。

その後審議に入り、1名の総代より地球温暖化問題環境セミナーを通して太陽光発電の普及を生協の運動として意義あるものにしていきたいという発言があり、これを受けて、大関恵士専務理事が今回の原発事故に見られように、「安全神話」から脱却して自然エネルギーの必要性が益々高まっており、生協としてもさらに創エネ事業を推進していきたい旨回答がありました。

休憩後、第2号議案2011年度事業計画及び予算決定の件、第3号議案2011年度役員報酬額決定の件、第4号議案議案決議効力発生の件が提案され、採択されました。

また、特別報告として5月28日から6月4日の1週間、東日本大震災災害ボランティアに職員の総務部小野主任参加した報告がありました。

すべての議事日程が終了し、吉川方章理事より、閉会の挨拶があり、その後出席者は懇親会会場に移動、2010年度の事業に貢献した協力業者やハウアドバイザーの表彰などが行われました。

挨拶をする藤井理事長



会場の様子

採決結果

- | | |
|-------|---|
| 第1号議案 | 2010年度事業報告・決算関係書類承認の件
反対0、保留2、賛成多数で原案通り可決。 |
| 第2号議案 | 2011年度事業計画および予算決定の件
反対0、保留2、賛成多数で原案通り可決。 |
| 第3号議案 | 2011年度役員報酬額決定の件
反対1、保留2、賛成多数で原案通り可決。 |
| 第4号議案 | 議案決議効力発生の件
反対0、保留2、賛成多数で原案通り可決。 |

第36回通常総代会総代名簿（五十音順）

相原孝行、浅野祐子、朝比奈健一、荒川貞人、飯田英雄、飯山和孝、逸見武史、井上恭伸、岩丸郁也、榎本桂子、大久保光弘、大島明、大関肇、大竹弘彦、岡本達哉、沖山敏子、尾崎誠、加藤重行、唐川文雄、川内芳隆、川崎雅和、川原林勝、菊島清介、木村光明、栗原哲治、黒瀬和栄、黒瀬賢治、合田誠一、神山幸恵、後藤隆、小早川久佳、佐伯守章、佐々木秀雄、佐藤章、佐藤尚子、澤野裕、塩谷博、下村正治、新城茂男、関口修、関戸寿史、関谷治、千賀良作、外沢春夫、高島重紀、高信正勝、谷口辰二郎、丹野隆之、土田知可子、筒井惟精、寺澤敬之、豊原徹雄、中井みち子、中島義生、中橋重友、中村勝利、中村好一、西田好江、西脇信彰、沼田芳彰、根津昭男、野上利行、野口孝、橋本久夫、服部繁、日向巖、日野和人、藤本和子、二又祐一、細谷勝、堀口紀久雄、堀利明、本名茂雄、前田光枝、前能達郎、前原実、馬上春雄、松川みどり、丸山浩明、三川英利、南澤義朗、宮崎節彦、宮崎武、宮瀬裕規、村木昇、本橋裕介、百瀬幸弘、森文行、森学、柳沢教茂、柳田敏子、山本巖、横内憲、横川由利子、吉田桂子、吉田典道、吉田弘明、米原純二、渡邊賢、渡辺正

第36期決算公告 貸借対照表の要旨 (2011年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	117,887	流 動 負 債	83,208
現金及び預金	51,351	工事未払金	43,701
建築供給未収金	43,466	未払金	1,939
未成工事支出金	19,786	未成工事受入金	30,700
未収入金	2,569	その他	6,867
その他	1,034	固 定 負 債	23,427
貸倒引当金	△ 320	退職給与引当金	8,211
固 定 資 産	21,883	預り保証金	15,216
有形固定資産	2,086	負 債 合 計	106,635
無形固定資産	1,282	純 資 産 の 部	
その他固定資産	18,515	組合員出資金	56,383
保険積立金	0	剰余金	△ 23,248
関係団体出資金	7,630	純資産合計	33,135
その他	10,885	負債・純資産の合計	139,770
資 産 合 計	139,770		

損益計算書の要旨

(2010年4月1日から

2011年3月31日まで)

供 給 高	640,175
供給原価	541,571
供給剰余金	98,604
事業経費	115,010
事業剰余金	△ 16,406
事業外収益	3,347
事業外費用	864
経常剰余金	△ 13,923
特別利益	1,604
特別損失	20,194
税引前当期剰余金	△ 32,513
法人税等	180
当期剰余金	△ 32,693
前期繰越剰余金	1,626
額	7,819
当期末処分剰余金	△ 23,248

2011年度の 事業に向けて

専務理事 大関恵士

東日本大震災は規模の大きさ、被災地の範囲、さらには原子力発電所の事故と、被害は戦後最大級となり、復旧・復興までには相当の時間がかかることが予測されます。また、夏の電力不足がどのように影響するか、私たち住宅事業を専門とする生協の経営にとっても、先行き不透明なところが多々あります。

このような中、2011年度の活動の基調としては、第一に、組合員の住まいに対するニーズに応え経営基盤を磐石なものとなるよう努め、二期連続の赤字に終止符を打つことを至上命題とします。第二に、中期3カ年計画の中間年として、目標だった組合員1万人を達成したことに続き、利用件数2,000件を目指します。第三には、日本の生協運動全体を視野に「日本の生協の2020年ビジョン」に呼応して、住宅生協の10年後のありたい姿を論議していきます。第四は、国連が2011年を国際森林年に決定しました。森を守り、木材の利用・普及に努めるとともに、地球温暖化問題との関連でも、原発に代わる自然エネルギーとして太陽光発電など創エネリフォームを推進します。

「一人は万人のために、万人は一人のために」という言葉に象徴されるように、生協は人と人との協同、絆を原点としています。住宅生協も日常業務とともに、震災の復旧・復興に向け、この協同の精神を広げていくための一翼を担って行きたいと思えます。



Y様邸新築工事

部屋の中が明るく風通しが良く、東京の木を使った床も気に入っています。（Y様）

北側・東側・南側方向から、高さについての厳しい 建築制限のもと、制限ぎりぎりまで、Y様の要望に応えた家づくり。

引戸を活かした空間

兄弟姉妹 計4人暮らし
個室又は区切れる空間が特に就寝時に必要。
洗濯物を干すスペースとして、ベランダが絶対にほしい。



木目調、破風板

木目調

ベランダ手摺は外壁の外側付けタイプ。可能な限りベランダを広くしたい



壁と色をそろえた

襖で仕切って落ち着いた空間

とにかくムク材を可能な限り使う仕様とした



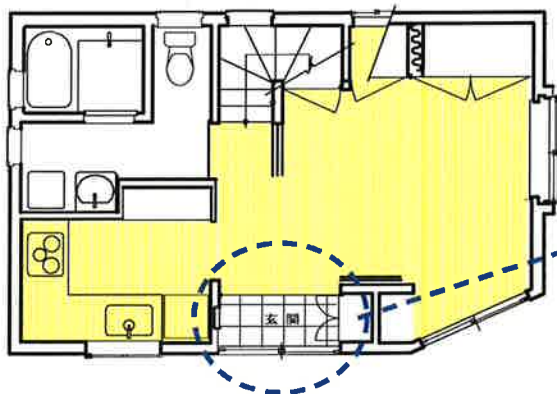
天井までの収納。
藍色のクロス貼で、
落ち着いた空間を
出しました。

桧材

収納の中は
東京の木杉板張

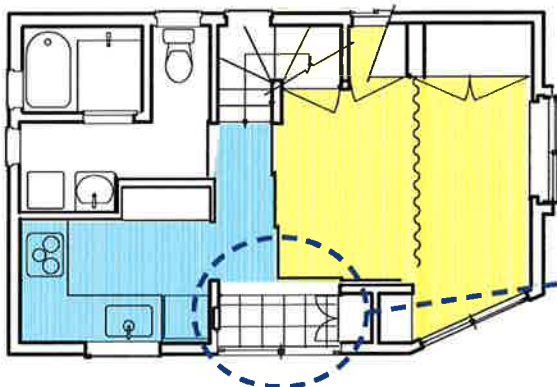


Y様のセンスで

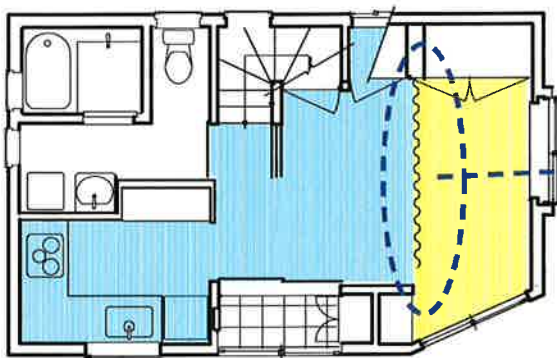


引戸を閉め切り
ました

杉板張



玄関の引戸を
開けっ放ししました



アコーディオンカーテンで
仕切りました



玄関になったり
廊下になったり
居間になったりの
時々に合わせて建具を
開けたり閉めたり

▲オープンスペースを襖やアコーディオンカーテンで仕切ることによって、4つのパターンで利用できます。



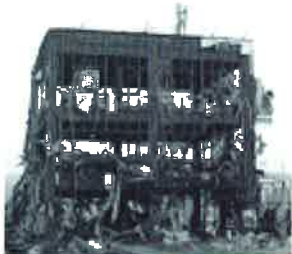
生協は東京都森林組合と提携しています。

屋根の形状に沿い
内部の天井を仕上げ、
変化のある2階の個室





宮城県南三陸町



防災対策庁舎(防災無線放送で
女子職員が亡くなった場所)



昭和35年のチリ地震の時の水位
の看板



機関車が公園内にあったが横倒
しになっています

東日本大震災災害ボランティア活動報告

総務部 小野 清

◆災害ボランティアプログラム

内容: 5月に開催された東京都生協連理事会において、今回の東日本被災地支援について、東京の生協として、東京災害ボランティアネットワークに取り組みに参加していくことを確認し、当住宅生協も参加 要請があり、了解した次第です。活動拠点は、宮城県登米市内の登米保健センターを宿泊場所として、

4月2日から1週間単位で10月までの被災地支援を継続して実施していきます。



◆今回の活動期間: 第9期 平成23年5月28日(土)～6月4日(土)

◆活動内容: 南三陸町もしくは、各避難所支援およびボランティアセンターの支援



昭和35年の津波災害記念碑



天気が良かったので、外での「ふれあい食事会」。豊里多目的研修センターにて。



災害ボランティアセンター。
(個人及び団体の受付等)



災害ボランティアセンター内の写真
やアルバム。自衛隊が拾われた。



公立志津川病院



海に近い鉄筋マンション

参加した感想:

今回の宮城県南三陸町の状況を自分の目で生(なま)の光景を見て、こんなに静かな漁村を大津波が襲ったのかと信じられない気持ちでした。テレビ報道などでは、15m以上の高さの津波が来たと言われており、また、現地の証言では、1回目、2回目と3回目とあったと聞き、特に3回目の津波が一番ひどかったと聞いてまたびっくりでした。特に、建築関係の立場の住宅生協の職員として、現地の方の話を聞いた所、地震時の倒壊や半壊などは少なく、木造住宅の柱や梁などがとても大きく、構造も頑丈な家と思われます。関東近辺では少ない建て方であると感じました。また、現地の方とコミュニケーションを多く取りたいと思い参加しましたが、家族・家等の話が非常にデリケートであり、また、写真撮影は信頼関係が無いと撮影が出来ない事が始めて解かりました。現地の東京災害ボランティアネットワークの事務局の方からの情報で非常に参考になりました。

今回の災害を通して、ボランティア活動が避難所や現地の方々とのコミュニケーション、また、ボランティア活動のいろいろな活動チームの組織活動を通して非常に今後の人生及び生協活動の中で勉強になりました。最後になりますが、今回の現地の災害の実情や自分が経験した事などを多くの方に伝えて活きたいと思います。

住宅エコポイントがなくなる前に ぜひ工事を!



住宅エコポイント ポイントが発行される工事の対象期間の短縮について

住宅エコポイントは制度開始以来、当初の想定を大きく上回るたくさんの申請をいただき、「環境対応住宅の普及」という制度の目的が早期に達成される状況となってきました。このため、ポイントが発行される工事の対象期間を5ヶ月間短縮することとなりました。皆様におかれましてはご理解をいただきますようお願いいたします。

【ポイントが発行される工事の対象期間】

(変更前) **平成23年12月31日**までに着工・着手した新築・リフォーム工事



(変更後) **平成23年7月31日**までに着工・着手した新築・リフォーム工事

新築	リフォーム
変更前 平成21年12月8日～ 平成23年12月31日までに建築着工※1したもの ↓ 変更後 平成21年12月8日～ 平成23年7月31日までに建築着工※1したもの 平成22年1月28日以降に工事が完了したものに限りです。 ただし、太陽熱利用システムの設置について申請する場合は、 建築着工※1が平成23年1月1日以降の工事のみ対象です。 ※1 根切り工事または基礎杭打ち工事の着手	変更前 平成22年1月1日～ 平成23年12月31日までに工事着工※2したもの ↓ 変更後 平成22年1月1日～ 平成23年7月31日までに工事着工※2したもの 平成22年1月28日以降に工事が完了したものに限りです。 ただし、窓や外壁等の断熱改修と一体的に行う住宅設備の 設置工事は、工事着工※2が平成23年1月1日以降の 工事のみ対象です。 ※2 ポイントの発行対象工事を含む工事全体の着手



ポイントの申請期限及び交換期限は変更ありません。

〈ポイントの申請期限及び交換期限〉

工事の種類	建物の種類	ポイントの申請期限	ポイントの交換期限
新築	一戸建ての住宅	平成24年 6月30日	平成26年3月31日
	共同住宅等（階数が10以下）	平成24年12月31日	
	共同住宅等（階数が11以上）	平成25年12月31日	
リフォーム	一戸建ての住宅・共同住宅等	平成24年 3月31日	

注) 対象期間を短縮することにより、期間中に着工・着手した対象工事については、すべてポイントを発行できるものと考えておりますが、万が一、ポイント申請期限までに申請額が予算額に達した場合は、その時点でポイント発行を終了することとなります。

※住宅エコポイント対象工事については、工事の内容によって各建材や各商品の納期により対象期間に工事着手が出来なくなる場合があります。必ず工事担当者にご相談下さい。

※その他詳しいことについては、国土交通省のホームページを参照して下さい。

STOP! 原発☆温暖化

次世代につなげよう! よりよい安全な暮らしを... 伊藤 唯志

原子力? 子供のころ大人に教えてもらいました。原爆で日本は悲惨な目にあったのになぜ? 原子力発電所が日本にあるの?...「安全だから」

世界中の森林が伐採されて砂漠化が進んでいるのになぜ? 割り箸をつかうの?...「割り箸は関係ないよ」

3人の子供がいる現在、日本は自爆で被爆! 世界は2018年までに温暖化を止めないと気温が2℃上昇すると云われています。

さて、今子供たちに教えられることは...?! 自然は素敵だね...自然は怖いね...そして、行動すること!

7月からハチドリチームを結成しました。誰でも参加できます。

「いま、私にできること」一緒にしませんか?



建築事業部 伊藤唯志

「ハチドリのひとしずく」南米アンデス地方に伝わるお話です。

火事になった森で、我先にと逃げ出す生き物達。その中で、ハチドリだけはくちばしで水の雫を一滴ずつ運んでは火の上に落としていました。動物たちは「そんなことして、一体何になるんだ」と笑います。

ハチドリはこう答えました。

「私は、私にできることをしているだけ」



ハチドリチーム



マンション管理、お困りではありませんか?

マンション住まいのお悩みを、お一人で解決されようとしていませんか?

ペット問題で困っている。駐車場問題で困っている。お隣とのトラブルで困っている。お部屋の修繕で困っている。そんな時、お気軽にお電話ください。マンションで起こるいろいろな問題を一緒に解決します。

担当: マンション管理士 佐藤 信一

TEL.0120-670-620

生協・住宅センター

マンション管理業務主任者・マンション管理士

生協・住宅センターでは、理事会運営サポート・議事録の作成、管理費・積立金の集金事務、会計報告・良好な居住環境の維持、定期総会の準備・法律相談などを行なっています。

建物、設備の維持管理業務は受託しないので、管理組合の立場に立ったサポートが可能です。(但し、設備管理・協力業者の紹介は可能です)

又、法律の専門家による相談も承っています。

特徴

- ◎スムーズな定期総会運営
- ◎居住者の立場に立ったご提案建物、設備の維持管理業
- ◎理事会の依頼へ迅速な対応
- ◎安全な資金管理
- ◎管理組合の立場に立った設備会社との折衝
- ◎迅速な予算決算の作成
- ◎管理費滞納者への確実な督促業務



マンション管理業登録 国土交通大臣 (2) 031285号 担当: 佐藤・長谷川

お知らせ CO-OP2011組合員の集い

第3弾

LIXIL (リクシル)
東京総合ショールームと
東京スカイツリー
見学ツアー参加者募集!

開催日/7月30日(土)
場所/LIXIL (リクシル)
東京総合ショールーム東京
江東区大島2-1-1

受付/12:30
開会/13:00
閉会/16:00
閉会后 徒歩及び地下鉄で移動
自由解散
参加費/無料 定員/50人
申込締切/7月26日(火)

第4弾

LIXIL (リクシル)
横浜工場見学と中華街で
ランチツアー
参加者募集!

日時/8月27日(土)
集合場所/中野区中央5-41-18
生協住宅センター

受付/9:00
解散/17:00 生協住宅センター
(中野)にて解散
参加費/500円
定員/20人
申込締切/8月24日(火)

ハチドリのひとしずく環境セミナー

『ハチドリのひとしずく〜今、私にできること〜』

講師/株式会社インターナショナル・エコ・フレンドリー
顧問: 森田秋彦

(1) 7月18日(月) 開催日時/13:30~15:30(受付13:00~)
(2) 8月6日(土) 参加条件/なし 参加費/無料

まだ誰も知らない
オール電化・太陽光発電
のはなし
〜あなたは営業マンの
言いなりに
なっていませんか?〜

★参加者全員にソーラーライトプレゼント!

(1) 7月31日(日)
(2) 8月20日(土)

開催日時/13:30~15:30(受付13:00~)
参加条件/※環境セミナー参加者
参加費/無料

開催場所/両月ともに東京都生協連会館3階